

# 千電協会報



千葉県電業協会  
一般社団法人 2022.1 第48号



## 目次

(敬称略)

### ● ご挨拶

会 長	五十嵐 治 美
千 葉 県 知 事	熊 谷 俊 人
千葉県県土整備部営繕課 課長	小 杉 暢
(一社)日本電設工業協会 会長	山 口 博

### ● 1年を振り返って

- ・第59回通常総会
- ・安全研修会
- ・千葉県知事との面談
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
  - 防災・渉外委員会
  - 技術・人材委員会
  - 総務・企画委員会

### ● 寄稿文

「囲碁は脳の活性化を促す」

(株)春日電設

橋本 国彦

### ● 会 員 消 息

### ● 会 務 報 告

### ● 総 会 日 程 案 内

### ● 協 会 役 員

### ● 組 織 表

### ● 会 員 名 簿

### ● 編 集 後 記



(表紙等の写真)

笠森観音(長南町)

当協会事務局・提供



# 年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

五十嵐 治 美

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり謹んで新年のお慶びを申し上げます。また2021年の協会事業が大過なく執り行うことができ、会員の皆さま、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。

さて2021年も引き続き新型コロナウイルス感染症に翻弄される1年になってしまいました。なんと1年の2/3の8か月もの間緊急事態宣言とまん延防止等重点措置下であり、またこの期間以外にも市民の暮らしに長い間制限がかかり、不自由な生活環境を強いられていたこととなります。

経済活動におきましても大きな打撃を被ることとなり、リーマンショック以来の景気の下落が鮮明になってきました。日本人の平均給与は平成のバブル終息以降、長年伸び悩みが続き、このコロナ禍でさらに落ち込んでしまいました。しかし、この影響は業種によって大きく違うことがわかってきています。給与が下がった業種の中では、宿泊・飲食サービスが特に他の業種よりも大きく下落し、また医療・福祉や小売りなど働き手の多い業種も軒並み減っています。一方で情報通信や金融・保険業など、前の年より伸びた業種もあります。このようにコロナ禍による経済や雇用への影響は二極化しているようです。景気が悪いのに人手が足りないという業種と過剰な業種によって分かれ、一時的にコロナ禍で活動が鈍くなり人手の問題が一服していましたが、これからまた経済の回復と共に求人活動が強まるでしょう。給与も上昇へ向かい、その後も中長期的には少子高齢化による就労人口減少にて給与が押し上げられることとなります。私たちの建設業は今年の給与伸び率はトップで、年間平均給与も500万円を超え、業種全体から見るとやや上位に位置するようになりました。このコロナ禍において高収入の産業に押し上げられたこととなります。

コロナ禍で他にも注目された業種があります。2020年に緊急事態宣言が発令されて以来、外出自粛に伴うデリバリー需要の増加を追い風にウーバーイーツや出前館といったフ

ードデリバリー産業が急拡大してきました。ここに従事する人たちの身分は自営業者なので、労働基準法などの労働法規がいつさい適用されません。もちろん社会保険には加入しておらず、年金もどうなっているやら、最低賃金保障もなく、当然雇用保険も使えない無権利状態にあります。このような業種は働き方改革の抜け道になってしまっています。年金、健康保険は全額自己負担で不安全な立場に置かれており、将来の日本の医療制度、年金制度に影響を及ぼすに違いないでしょう。未来ある若者に安易にこのような業種を選択させることを辞めさせ、社会保険、雇用保険、退職金制度に充実した建設業に目を向けてもらうよう働きかけねばなりません。政府はこのような不安定な労働環境にいる人たちを、健全な建設業に就労するよう促進をしていただけないものでしょうか。その昔バブル崩壊後、政府は公共事業予算を増やし続けましたが、地方の建設業者までには十分仕事が行き渡らず、国土交通省は他産業への職種替えのガイドブックを作成しました。東北地方では会社ごと林業や農業への鞍替えを斡旋し、建設人口を半分にする計画だったことを覚えています。多くの建設就労者を救済したことになるのですが、その後発生した東日本大震災では復興を担う労働力を確保できない事態になったことを忘れてはなりません。

さて、昨年末に新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が国内でも確認され、ようやく収束に向かったにもかかわらず、再流行の兆しが出てきてしまいました。東京オリンピック・パラリンピックの開催前まではやや好景気に向かっていましたが、一気に世界経済が停滞し、3年目に入ることとなります。不安定な日常生活が続きますが、何よりも自分たちの生活は自ら守っていかねばなりません。そんな中、昨年4月の千葉県知事選で新しい知事が誕生しました。熊谷新知事の県政ビジョンの中に、千葉の経済発展への取り組みと中小企業への支援を唱えています。今まで大手資本により中途半端な産業整備が行われてきましたが、これからは地元企業の手で千葉の発展に寄与できる機会が訪れた感があります。私たちは新知事に、県の経済を活性化させるより多くの建設投資を期待します。

市街地の再開発事業やIT産業の発展に伴って、電気工事業は最も求められる業種であり、2022年以降も忙しい日々は続くと考えられます。地球温暖化問題を背景に、再生可能エネルギーの普及への取り組み、電気自動車普及によるEVステーション事業の普及など、AI・IOT関連をはじめ将来に向けてあらゆる全てものが電気へ結びつくこととなります。このような明るい未来の電気工事業を、次の担い手に引き継いでいかねばなりません。安心して働ける職場環境を整え、働き方改革を推進し、人が集まる職場作りへと業界を盛り立てていきます。しかし優秀な技術者、技能者を育て上げるには企業が持続的な収益を確保していなければなりません。会員企業の安定した経営基盤を構築するため、協会は今まで以上に県に対する増注活動を強化し、陳情はもとより提案営業にも積極的に行っていきます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を願い、協会員の皆さま並びにご家族の皆さまにとって健康で幸せな日常を取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。今年も協会の取組に対し、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



# 知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

熊谷 俊 人



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日頃より、皆様には、電気工事業に関する知識の普及・啓発、電気技術の向上等に積極的に取り組まれるなど、本県の電気業界の健全な発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症による試練の年となりましたが、県民の皆様をはじめ、医療従事者、事業者の皆様にも多大な御協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

県政の基本である「県民の安全・安心を守る」ため、感染症対策については、これまでの課題を踏まえながら着実に準備を進めており、引き続き、病床確保や最前線に対応にあたる保健所の体制強化に取り組みます。

また、防災については、大きな災害を経験した千葉県だからこそ、その教訓を踏まえ、大規模停電への備えや河川整備等を進め、「災害に強い県づくり」を推進します。

過去の経験を生かして、大規模停電に備えるため、災害に強い送電網の構築、再生可能エネルギーを含めた発電方式の多様化等に、関係機関と連携して取り組んでいるところです。

また、昨年、八街市で痛ましい交通事故が発生しました。こうした事故の根絶に向け、道路交通環境の改善等を図ります。

新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた経済の回復は急務であり、中小事業者の円滑な資金調達や観光需要の回復等に取り組みます。また、未来に向けては、成田空港の機能強化などの動きも踏まえた企業立地等を促進します。

更に、産業活動を支える道路ネットワークについては、首都圏中央連絡自動車道、北千葉道路の整備とともに、新たな湾岸道路計画の早期具体化に取り組みます。



昨年開催された東京2020大会では、多様性を認めあう素晴らしさを多くの方が実感されたと思います。年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、誰もが生き生きと活躍できる共生社会の実現に向け、取り組んでまいります。

また、三方を海に囲まれ、自然豊かな本県特性により育まれた食文化や伝統文化などを「ちば文化」としてブランド化し、千葉らしいライフスタイルの魅力を次世代につないでまいります。

現在、県では、県政運営の基本となる「総合計画」を策定しているところです。県が目指す10年後の姿と、今後3カ年の重点施策について取りまとめる予定であり、SDGsなどを施策横断的な視点として位置付け、事業を実施することとしています。

県民の皆様が生きる価値、働く価値を実感できる千葉の未来の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

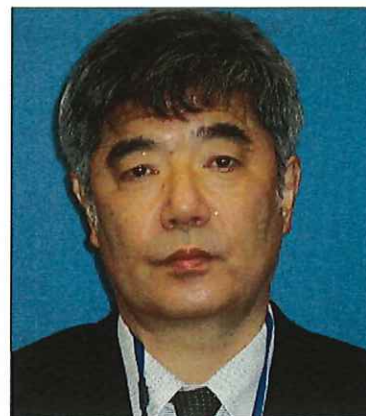


## 年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

小 杉 暢



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会及び会員の皆様には、日頃から千葉県の営繕行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年も新型コロナウイルス感染症による厳しい試練の年となり、様々な社会活動が影響を受ける中、徹底した感染対策により、公共工事の事業継続に御尽力いただき、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、千葉県が整備する公共建築物は、県民の皆様に様々な行政サービスを提供する場として、使いやすく親しみの持てる施設であることはもとより、環境負荷や長期的な視点に立ったライフサイクルコストにも配慮した施設の整備が求められております。また、近年、甚大化、頻発化している風水害や発生が危惧されている首都直下型地震等の災害時における業務の迅速性かつ継続性、人口構造の変化など、時代の変化とともに生じる行政課題に対応できる機能的な施設の整備が必要となっております。

現在、県では築30年以上のものが約7割を占める県有建築物について、平成29年11月に策定した「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき、順次、大規模改修や建替え、計画保全、合同庁舎化等により長寿命化と機能強化を進めているところであり、千葉県社会福祉センターや山武合同庁舎の建築工事、千葉リハビリテーションセンター建築工事の設計等を実施しております。令和4年度は本計画のうち第I期（平成30年度～令和4年度）の最終年を迎えますが、引き続き、県民の皆様のニーズと時代の要請に応えられるよう良質な県有建築物の整備に取り組んでまいります。

こうした中、電気設備につきましては、LED照明器具や高効率変圧器の採用等により維持管理コストの低減を図るとともに、太陽光発電設備や非常用発電設備の設置等により



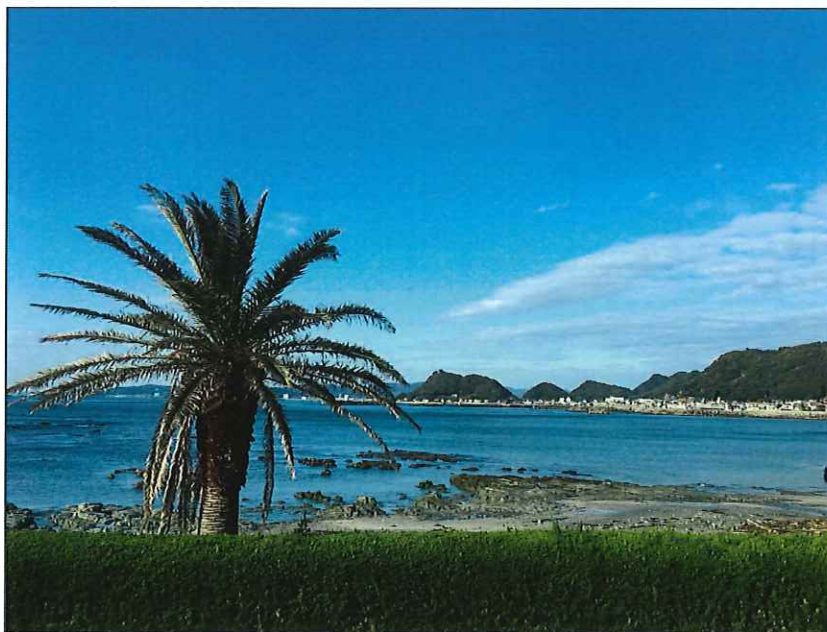
環境や防災に配慮した設計を行っているところですが、このような電気設備工事は、専門性が高く、高度な技術を必要とすることから、多くの専門技術者を擁し、豊富な経験を有する会員皆様の御協力がぜひとも必要となってまいります。

会員の皆様におかれましては、日頃から、新しい法令・制度の知識や最新技術の研鑽、若手技術者の育成、安全管理の徹底等に励まれていることと存じますが、今後も引き続き、電気設備業界のリーダーとして千葉県の営繕行政の推進に御協力いただき、県民生活の安全確保、公共福祉の増進、更には、地域産業の振興等に御尽力いただきますことをお願い申し上げます。

近年、建設業を取り巻く環境は、技術者・技能者の高齢化や若手入職者の減少など依然として現場を支える人材不足の厳しい状況が続いており、働き方改革の推進や生産性向上への取組等が求められております。また、令和6年4月からは建設業においても時間外労働の上限規制が適用されます。

千葉県においても、公共工事品質確保法の趣旨に基づき、将来にわたる公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保を図るため、発注者の責務として、予定価格の適正な設定や適切な工期の設定、施工時期の平準化、週休2日促進工事の実施等に引き続き取り組んでまいります。

結びに、新たな年が災害のない穏やかな年であり、千葉県にとって希望に満ちた年となることを祈念するとともに、一般社団法人千葉県電業協会の更なる御発展と会員の皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。





# 年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 博



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年10月に後藤前会長の後任として一般社団法人日本電設工業協会の会長に就任いたしました山口でございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。皆様には当協会の活動に対し日頃から多大なご支援を賜り、この場を借りまして心から御礼申し上げます。

昨年も前年に引き続き、社会活動全般にわたり、新型コロナウイルス感染症への対応に迫られた一年ではありましたが、「With コロナ」の発想で影響を最小限に食い止める努力をしつつ、諸活動を正常に戻していく方向に転じた1年であったかと思ひます。開催が1年延期となりましたオリンピック・パラリンピックも政府、東京都を始めとする関係者や参加者の皆様のご努力により無事終了することができましたし、年末に向けて、わが国の感染者数も大幅に減少するなどワクチン接種の推進はじめ諸対策の効果も現れてきたのではないかと思わせる昨今です。

その一方、「コロナ禍」は、仕事の現場を大きく変えるきっかけとなりました。当協会の行事に関しては、残念ながら、昨年も JECA 展は中止となり、会員が一堂に会する行事もその多くを中止とせざるを得ませんでした。日々の業務に関しては、在宅勤務やWEBを利用した会議が日常となり、また、様々な事務処理やシステムの合理化が進み、必ずしもマイナスの面だけではなく、この「禍」をプラスに転じる兆しも見えてきたように思ひます。

このような社会の転換期に臨み、当協会では、「臨時総会決議」の形で「夢と生きがいのある電設業界を目指して」、これからの1年間の活動の指針を4項目にまとめました。

## 1. 働き方改革の実現<労働基準法の特例廃止(令和6年)まであとわずか>

魅力ある働き場として、長時間労働の是正や週休二日の実現は、今や確保しなければならない最低限の条件です。2年後の令和6年の4月からは、建設業に特例的に認められていた労働時間規制の緩和が廃止され、その違反は罰則を伴うものとなります。この課題に関しては、業界全体として真剣に取り組み、各企業の努力を促していかなければなりま

せん。また、このことを実現するためには、一昨年、国の中央建設業審議会から勧告がありました「工期の基準」に基づく適正な工期の推進・定着を進めていくことも必要です。

## 2. 担い手の確保・育成と処遇改善

わが国で少子化が進む中、業界を担う人材の確保が急務ですが、その上では、新規就労者にとって魅力ある働き場であることをアピールすることが大変重要です。このため、就職支援サイトやデジタルメディア等も効果的に活用し、「心に響く」人材確保方策を展開していきます。

また、インターンシップや講習制度のさらなる充実を図り、当業界への勧誘や人材育成を推進します。

さらには、特定技能制度による外国人材確保のための体制整備を進めていきます。

## 3. 新時代へ向けてのイノベーションの推進

全産業界をあげて取り組んでいるカーボンニュートラルに向けて、電設技術の立場からの貢献策を提示するとともに、業務実施に関しては、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の導入などによりさらに生産性の向上に努めていきます。

## 4. 様々なリスクへの的確な対応

引続き新型コロナウイルス感染症への予防・対応策を徹底するとともに、近年の甚大な自然災害にも対処しうる電気設備のレジリエンス向上策を提案していきます。

今年の干支は、壬寅（みずのえ・とら）、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力にあふれ、暖かい春が来ると云われています。皆様とともに明るく活力のある年にして参りたいと思います。

結びに、皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。





# 1年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

## 第59回通常総会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和3年 5月26日  オークラ千葉ホテル	第59回通常総会 ・第1号議案 令和2年度事業報告について ・第2号議案 令和2年度収支決算の承認について ・第3号議案 会費改定(案)の承認について ・第4号議案 令和3年度事業計画について ・第5号議案 令和3年度収支予算について ・第6号議案 監事選任の承認について	出席 19社 議決権 65社 委任状 22社  計 106社



## 上記以外の行事

第59回通常総会懇親会	コロナ禍のため、中止
防災研修会	コロナ禍のため、中止
地区別会員交流会	コロナ禍のため、中止

## 安全研修会

開催日時、場 所	テーマ・講 師	出席者・対象等
令和3年 7月28日  協会会議室 (ZOOM 配信)	テーマ 『笑顔で作るチームワーク ～顔を作る 安全を作る～』 笑顔コーディネーター ウォーキングインストラクター 新野見 博子 氏	ZOOM 出席 会員35社47名



## 熊谷千葉県知事との面談

開催日時、場 所	内 容
11月8日  千葉県庁	技術者不足の問題に関連し、小中学校から建設業分野へ興味を持ってもらうための活動が重要であることや、現場管理などの業務を効率的に行うためリモート活用の提言などの必要性について意見交換を行った。  また、来年の(一社)日本電設工業協会の会員大会が千葉県で開催されることに触れ、熊谷知事には是非出席いただきたい旨をお伝えし、決して長くはなかったが、内容の濃い時間となった。





## 三県連絡会議

開催日時、場 所	内 容
11月19日 ホテルブリランテ 武蔵野	(神奈川県電業協会)・働き方改革への取り組みについて (千葉県電業協会) ・アフターコロナにおける協会の活動の変化について ・リース事業・ESCO 事業などについて ・電気設備業の with コロナ生き残り策について ・現場技術者の採用状況と取り組みについて (埼玉県電業協会) ・アフターコロナについて ・河川における災害について ・分離分割発注について

### 出席者・対象等

千葉県	5名
神奈川県	4名
埼玉県	6名



## 千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
11月27日(土) 県立京葉工業高校	・工業高校総合技術コンクール 審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による 競技 ・大会参加者 県内校 17名(電気)	審査員 7名 ※千葉県電気工 事工業組合と 合同派遣	9/8 事前打合せ 10/19 事前打合わせ



# 委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

南山 和也



新年あけましておめでとうございます。

防災・渉外委員会の令和3年の活動についてご報告申し上げます。

今年もコロナ禍ではありましたが、防災としては、県との合同震災訓練の規模は縮小されましたが実施され、協会としてもやれることはやろうということで、例年通り協会独自の伝達訓練を行うとともに、数年ぶりの担当施設調査を行うなどの活動を実施しました。

渉外の話題としては、県の道路照明のLED化について従前より陳情を行っていましたが、知事の交代を期にESCO事業として公募がなされたことがあります。要望していた「工事」としての発注ではなかったのは残念ではありますが、予算や全国的な情勢を考えるとやむを得ないところです。ただ、募集要項の中では、施工についての構成員企業は県内本店企業に限られており、また、事業者選定に係る評価の中では、県との防災協定の締結やこれまでの屋外照明灯に係る工事实績などが優遇されるなど、これまでの協会活動と会員各社の活動が県に認められていることが反映されたものでありましたので、その点は良かったと思います。

今後も、「工事」での発注・分離発注を念頭に陳情をしていくことはもちろんですが、PFIやデザインビルドなどの発注が増えている情勢ですので、そういった形態に対して技術的・知識的に対応力をあげていくことと、大型物件の物量をこなしていくために同業者間で協力体制を高めていくことの両方が重要になってくると感じています。会員各社様にも引き続き協会活動への御協力をお願いするとともに、会員同士の協力についても意識して頂けたらありがたいです。

末筆ながら、今年が平穏なものとなることと会員の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

## (1)災害防止事業

### ①震災訓練等

開催日時、場所	内容	出席者・対象等	備考
令和3年 8月24日	協会独自の情報伝達訓練	全会員 109社	
11月 9日	千葉県県土整備部との 合同震災訓練	本部 7名参集 出先対応 2社実働	県内全域



## ② 県出先機関防災説明

実施日	内 容	出席者・対象者	訪問先
令和3年 4月 1日	災害応急対策組織及び災害応急業務について	会員109社	県出先機関21事務所 ※書類送付
4月～5月	災害応急対策組織及び災害応急業務についての説明	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長、事務所隊長	県出先機関21事務所 (異動挨拶同日実施) ※一部郵送対応

## ③ その他災害応急対策に係る事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
令和3年 7月～9月	災害応急対策協定に係る担当施設の調査	会員109社	県内全域

## (7) 公共工事発注機関への陳情・提言等事業

月 日	陳 情 内 容	陳 情 者	陳 情 先
令和3年 4月～5月	県出先異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について	地区担当理事 防災・渉外委員、 他	県出先機関59施設 ※持参13施設 郵送 46 施設
7月16日	・道路照明のLED化の推進と協会員への優先発注について(要望)	理事 5名	県土整備部 道路環境課
9月17日	・道路照明LED化のESCO事業に係るお願いについて	五十嵐会長、 常務理事	県土整備部 道路環境課
11月 8日	県知事との面談	会長、副会長3名、 常務理事	千葉県庁 熊谷千葉県知事
11月 8日	・施設照明LED化のESCO事業について	会長、 植草副会長、 細矢副会長	県教育庁 教育施設課

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。



# 委員会報告 技術・人材委員会

委員長

近藤 信幸



新年明けましておめでとうございます。

技術・人材委員長の近藤でございます。

2021年も、2020年に引き続き新型コロナウイルス感染再拡大のため、関係各位の皆様には大変ご苦労なされたことと思います。

今年度の事業は前年度と同様にコロナ禍の為、極力三密を避けるような事業に切り替えるなど暗中模索の中、1級電気工事施工管理技師講習会については、第一次検定の講習会のみ会場を借りての開催ができましたが、第二次検定の講習会は緊急事態宣言が再度発令されたため Web による映像配信となりました。安全研修会は、ZOOMによるライブ配信という初めての方法で開催をいたしました。

東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催されましたが、私自身最初はこの時期に開催するのは本末転倒かと思いましたが、逆にこんな時期だったからこそその感動が得られたのかなと思います。ただし、設備投資、経済波及効果には至らなかったかなと思います。

前年に引き続き、技術・人材委員会は IT を駆使し会員の皆様の技術向上を図る意味での講習会の開催等に力を入れていく所存でございますので皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、まだまだ状況的には楽観視できませんが、一日でも早くコロナ感染が終息しますように祈念いたしまして私の挨拶と代えさせていただきます。





### (3)講習会事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	結果等
令和3年 4月20日、21日 千葉県経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定学(第一次検定)試験 受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 21名 非会員 3名	筆記試験合格率 全国 53.3 % 協会 59.3 %
令和3年 ウェブによる 映像配信	1級電気工事施工管理技術 検定(第二次検定)試験受 験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 18名	※新型コロナウイルス感 染再拡大のため、会場で の開催は中止とし、Web による映像配信へと変更

### (4)事故防止業

#### ①安全研修

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和3年 7月28日 ZOOM 配信	安全研修会 テーマ: 笑顔でつくるチームワーク ～「顔」を作る「安全」を作る～ 講 師: 新野見 博子 氏	会員 47名

### (5)資機材調査研究事業

#### ①資機材調査研究

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
中止	賛助会員との情報交換会(コロナ禍のため)	

### (8)人材の確保及び育成事業

開催日時、場 所	内 容	出席者数
中止	経営研修会(コロナ禍のため)	



# 委員会報告 総務・企画委員会

委員長

青木拓也



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染者も徐々に減り、段々と元の生活に戻る兆しが見えてきました。このまま何事もなく終息してくれる事を祈るばかりです。

総務企画委員会の令和3年度の活動について御報告致します。

前半の行事に付きましては昨年同様、新型コロナウイルスの影響により総会は総会のみで懇親会は行わず執り行われました。また、学校訪問も学校側の希望を確認し、直接対面で行うか資料郵送のみかを判断して頂き例年よりも対面での懇談が減ってしまう状況が続きました。地区別会員交流会も昨年同様に中止となっております。

後半の行事に付きましては、ポリテクカレッジへの出前講座や CCI からの要請にて2校への出張授業を行って居ります。そのほか各工業高校への出前講座を行っていく予定であります。

また、工業高校技術コンクールに関しましては昨年中止と成った分、関東大会出場選手を決める予選の為のコンクールが6月執り行われました。また、例年と同時期の11月にも通常のコンクールが行われました。いずれにも審査委員長及びに審査委員数名が当委員会より参加をして参りました。

今年度も会員皆様のお役に立てる委員会活動を行っていきけるよう努めて参りますので当委員会の活動に御理解御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## (2) 就労支援事業

開催日時、場所	内容
令和3年	
2月 3日 東総工業高校	出前講座
2月16日 市川工業高校	出前講座
4月 全会員向け	人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターシップ受入れ等)
6月 県内工業高校等6校	人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての訪問調査
11月17日 ポリテクカレッジ千葉	出前講座
11月15日 市原市立湿津小学校	CCIからの要請による出張授業(電気)
12月14日 木更津市立請西小学校	CCIからの要請による出張授業(電気)

## 広報関係

内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼</li> <li>・1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集</li> <li>・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局</li> </ul>